

おいしさと健康



江崎グリコ株式会社

道頓堀グリコサインで初!
安心・安全な街づくりを呼びかける
公共広告を期間限定で実施
—2015年12月1日(火)開始—

<概要>

江崎グリコ株式会社では、道頓堀グリコサイン初の公共広告を12月1日(火)より1か月間、実施いたします。

道頓堀グリコサインは昨年10月に6代目として大幅なリニューアルを行いました。新たにLED技術を採用したことで、それまでのネオン管では出来なかった映像演出が可能になり、国内外の多くの方にお楽しみいただいております。

この度、グリコサインの特徴である親しみやすさと新機能を安心・安全な社会づくりに活かしたいという思いのもと、公共広告を実施いたします。広告内容は大阪府南警察署にご協力させていただき、安心・安全な街づくりを目指すものとなっております。このような取り組みは、6代目グリコサインでは初となります。

江崎グリコでは引き続き事業活動での安心安全を考え、より多くの方に笑顔になっていただける活動に取り組んでまいります。

【6代目グリコサイン】



<概要>

■実施期間

2015年12月1日(火)から12月31日(木)

■実施時間と内容

1回目: 20時25分~20時30分(5分間)

「自転車は、早めのライト点灯と反射材の装着を。
大阪府南警察署」

2回目: 20時55分~21時(5分間)

「ミナミの街から飲酒運転をなくしましょう。
大阪府南警察署」

■広告掲載場所

グリコサイン下部

【ご参考①】 6代目グリコサイン基本情報

- 正式呼称 「道頓堀グリコサイン」
- スペック

大きさ	高さ 20.00m×横幅 10.38m
点灯の仕組み	LEDチップ:約 14 万個 (143,976 個)
点灯時間	日没後 30 分後点灯、24 時に消灯

【ご参考②】 グリコサインの歴史

初代 昭和 10 年～	大阪道頓堀川、戎橋のそばに初めてグリコのネオン塔が立ったのは 1935 年（昭和 10 年）。高さ 33m を誇るネオン塔は、トレードマークのランナーとグリコの文字を 6 色に変化させ、同時に毎分 19 回点滅する花模様で彩ったものでした。当時としては型破りのネオンで、一躍大阪ミナミの名物となりました。	
2 代目 昭和 30 年～	1943 年（昭和 18 年）、戦況が厳しくなり鉄材供出のため撤去されてしまいましたが、戦後の 1955 年（昭和 30 年）、2 代目が再建されました。ネオン塔（高さ 21.75m）は砲弾型の下部に特設ステージ（高さ 5.26m）を持つユニークなもので、ここでは大きな人形のワニ君がピアノをひいたり、人形劇を演じたり、ロカビリー大会を催したりしました。	
3 代目 昭和 38 年～	1963 年（昭和 38 年）には 3 代目にバトンタッチ、噴水ネオン塔（高さ 18m、横 8m）になりました。12 トンの水が、トレードマークの中心部にある 150 本の水車状のノズルから噴き出し、12 色のランプ 400 個がそれを照らして、きれいな虹の模様を描きました。落下した水はまたポンプで上のタンクに戻す仕掛けになっていました。	
4 代目 昭和 47 年～	高さ 17m、横 10.85m で 1972 年（昭和 47 年）に建設しました。バックになっている陸上競技場のトラック部分を点滅させ、トレードマークのランナーに躍動感を持たせたネオンでした。このネオン塔は、日没から午後 11 時までネオンが点灯し、競技場の中央コースからゴールインするランナー姿が川面に映え、看板を背景に記念撮影するほどの名物看板になっていました。隣接するビル改装に伴い 1996 年 1 月 21 日に消灯、その翌日から撤去しました。	
5 代目 平成 10 年～ 平成 26 年 8 月	1998 年（平成 10 年）7 月 6 日（月）、4 代目の撤去後、約 2 年半ぶりに再点灯されました。陸上競技場のトラックを走るランナーの背景には、大阪を代表する 4 つの建物（大阪城、海遊館、大阪ドーム、通天閣）が描かれています。また、バックの情景の色が変化することで、朝、昼、夕焼けそして夜と、ランナーが大阪の街を一日かけて走っているような姿を表現しました。 【大きさ】 高さ 20.00m、横幅 10.85m 【ネオン管】 総数約 4,460 本、のべ 5100m。全 7 色 【点灯時間】 日没 30 分後に点灯、24 時に消灯	
6 代目 平成 26 年 10 月～	6 代目「道頓堀グリコサイン」は、これまでのネオン灯に代わり、LED を採用し、多彩な映像演出によって、ご通行やご観光の皆様楽しんでいただけるようになりました。特別動画は、5 つの地域を走っている動画をローテーションで放送しています。 ※5 つの地域とは、日本、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、アジア・オセアニアです。	